

高知大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

高知大学医学部附属病院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2025 年 5 月 13 日

①対象者	2019 年 6 月 1 日～2024 年 7 月 31 日の間に当院で BRACAnalysis (BRCA 遺伝子のコンパニオン診断) またはがんゲノム医療を受けた膀胱がん患者さん			
②研究課題名	生殖細胞系列 BRCA バリエント膀胱がん症例の疫学・遺伝情報の研究			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2027 年 10 月			
④実施機関	静岡県立静岡がんセンターと研究関連施設			
⑤研究代表者	氏名	松林 宏行	所属	ゲノム医療推進部遺伝カウンセリング室
⑥当院の研究代表者	氏名	佐竹 悠良	所属	腫瘍内科
⑦使用する検体・データ	BRACAnalysis・多遺伝子パネル検査の結果およびカルテ記載情報（個人を識別できる情報は除外されます）			
⑧他機関への提供	有（提供先：静岡県立静岡がんセンター、BRCA 遺伝子検査症例数と BRCA バリエント(変異)保有者の BRCA バリエント情報と臨床情報			
⑨提供先の責任者	氏名	松林宏行	所属	静岡県立静岡がんセンター ゲノム医療推進部
⑩目的	膀胱がん症例では約 5%に BRCA バリエント(変異)保有者がいると言われていますが、まだ BRCA バリエント保有者に発生する膀胱がんや家族歴などの特徴はあまり知られていません。本研究では、BRCA バリエント保有者の疫学所見の特徴、その方の膀胱がんの特徴、バリエントの特徴、膀胱がん組織のに BRCA バリエントを認めた場合にそれが遺伝性である頻度を調べます。			
⑪方法	BRCA バリエントを有する膀胱がん症例の臨床情報と BRCA バリエント情報(バリエントの部位など)を国内の多施設から収集し、集計・解析する。データは全て個人情報とは切り離して保管・解析され、個人情報は保護されます。			
⑫倫理審査	倫理審査委員会承認日		年	

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。
井上 啓史

2025 年 3 月 16 日

①対象者	2019 年 6 月 1 日～2024 年 7 月 31 日の間に当院で BRACAnalysis (BRCA 遺伝子のコンパニオン診断)またはがんゲノム医療を受けた膀胱がん患者さん			
②研究課題名	生殖細胞系列 BRCA バリエント膀胱がん症例の疫学・遺伝情報の研究			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2027 年 10 月			
④実施機関	静岡県立静岡がんセンターと研究関連施設			
⑤研究代表者	氏名	松林 宏行	所属	ゲノム医療推進部遺伝カウンセリング室
⑥当院の研究代表者	氏名	佐竹 悠良	所属	腫瘍内科
⑦使用する検体・データ	BRACAnalysis・多遺伝子パネル検査の結果およびカルテ記載情報（個人を識別できる情報は除外されます）			
⑧他機関への提供	有（提供先：静岡県立静岡がんセンター、BRCA 遺伝子検査症例数と BRCA バリエント(変異)保有者の BRCA バリエント情報と臨床情報			
⑨提供先の責任者	氏名	松林宏行	所属	静岡県立静岡がんセンター ゲノム医療推進部
⑩目的	膀胱がん症例では約 5%に BRCA バリエント(変異)保有者がいると言われていますが、まだ BRCA バリエント保有者に発生する膀胱がんや家族歴などの特徴はあまり知られていません。本研究では、BRCA バリエント保有者の疫学所見の特徴、その方の膀胱がんの特徴、バリエントの特徴、膀胱がん組織のに BRCA バリエントを認めた場合にそれが遺伝性である頻度を調べます。			
⑪方法	BRCA バリエントを有する膀胱がん症例の臨床情報と BRCA バリエント情報(バリエントの部位など)を国内の多施設から収集し、集計・解析する。データは全て個人情報とは切り離して保管・解析され、個人情報は保護されます。			
⑫倫理審査	倫理審査委員会承認日		年	